

◆日時: 2012年9月15日(土) 14時~17時

◆場所: 諫早市 勤労福祉会館

◆内容: 全国夏季セミナー報告

講話「大学での性と生の学びから見えてくるもの」

講師 安日 泰子

総会  
長崎セミナーについて

## 定例会のようす



### 山口セミナー報告

会員のみなさまには、詳細な報告集が送付されます。楽しみにしてください。

山口セミナーでは講演内容を要約筆記してスクリーンに映していたそうで、講演内容をもう1度確認できてよかったと好評でした。ユニバーサルデザインは「障がい」の方だけでなく、健常にもやさしいことだと実感しました。安達倭雅子さんの分科会でトイレの扉で「尻に向かって拭く」という表現はわかりやすく、感心しました。

### 中村まり子さんの報告

男女別の「月経・射精に対するイメージ」の統計結果を報告。月経に対するイメージは男女ともおおむね肯定的だが、射精に関して男性の方がマイナスイメージを持っていた。森岡正博著「感じない男」の中にマイナスイメージをもつ理由について、わかりやすく書かれているが、教育者として、男子への性教育が必要だと熱く語り、山口でも仲間の輪ができたことを報告。パワフルな まり子さんに脱帽です。

### 橋本芳子さん

大阪性教協の「どんと来い！思春期！！」報告書を見てください。参考になりますよ。 鹿児島島のたんぽぽセミナーの報告もしていただきました。

その中のひとつだけ紹介します。「いじめ問題に限らず、生きづらさの問題すべてに共通する課題としての、友を作る力、人との関係性を育む力、そして**逃げる力**を追求すべきだ。**逃げるが勝ち**という言葉がある。」本当にそうだと思います。逃げるのも勇気だと教えて欲しいですね。

### 安日泰子さんの講話:

1994年から大学生へ講話をしていく中で、年々進化している。女性が考える「男性の悩み」・男性が考える「女性の悩み」などアンケートをして、フィードバックしていく、あなたのそばに居る女性(男性)の悩みを知って欲しい。メディアに影響されていない？と考えてもらう。同年代から出た言葉に刺激を受けて、変容つなっていく。

アンケート結果から、どちらも「思いやる気持ち」が大切だと思っており、「言葉で伝えていかないとわからない」そして「きちんとYES、NOが言える」大切さに気づいて欲しい。中でも、「NO」を言う練習が必要。この取り組みを来年の全国セミナーへ出す予定です。